

二〇二三年度

群馬県立女子大学 文学部 国文学科

転入学及び編入学試験

「日本語学・日本文学・中国文学（漢文学）
及び日本語教育学」 試験問題

試験時間

11時00分～12時30分

問題一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

そのころ心地例ならぬことありて、命も危ふき程なるを、ここながらアともかくもなりなばわづらはしかるべければ、思ひかけぬ便りにて、愛宕あたごの近き所にて、はかなき宿り求め出でて、イ移ろひなんとす。かくとだに聞こえさせまほしけれど、問はず語りもあやしくて、泣く泣く門かどを引き出づる折しも、先に立ちたる車あり。

前まへ華やかに追ひて、御前ごぜんなどことごとしく見ゆるを、誰たればかりにかと目留とどめたりければ、ウかの人知れず恨み聞こゆる人なりけり。顔しるき隨身ずいじんなど、まがふべうもあらねば、かくとは思おもひ寄らざらめど、そぞろに車の中ちゆうはづかしくはしたなき心地しながら、今一度ひとたびそれとばかりも見送り聞こゆるは、いと嬉しくもあはれにも、さまざま胸静かならず。つゐにこなたかなたへ行き別れたまふほど、いといたう顧みがちに心細し。

(『うたたね』より)

注1 愛宕 … 京都市東山区五条坂のあたりか。

注2 前 … 貴人が通行する際の先導。

注3 御前 … 騎馬で先導する者。

問一 二重傍線部「聞こえさせまほしけれど」を解答欄に書き写し、例にならって品詞分解しなさい。

形容動詞・ナリ	名詞	格助詞	動詞・ラ行四段	助動詞・尊敬	補助動詞・ハ行四	助動詞・推量・連体	助動詞・伝聞	接続助詞
活用・連用形			活用・未然形	連用形	段活用・終止形	形(撥音無表記)	連体形	
にはかに	宮	へ	渡ら	せ	たまふ	べか	なる	を

問二 傍線部ア「ともかくもなりなば」を現代語訳しなさい。

問三 傍線部イ「移ろひなんとす」とあるが、なぜか。説明しなさい。

問四 傍線部ウ「かの人知れず恨み聞こゆる人なりけり」とあるが、なぜそのように判断したのか。説明しなさい。

問五 傍線部エ「はづかしくはしたなき心地」とは、誰のどのような様子か、説明しなさい。

問題二

次の問に答えなさい。

問一 島崎藤村の文学活動について、具体例を挙げて説明しなさい。

問二 無頼派について、具体例を挙げて説明しなさい。

問題三

次の各問いに答えなさい。

問一 現代日本語における破擦音について説明しなさい。

問二 対義語について、その具体例をあげて説明しなさい。

問三 古典語における使役の助動詞について、その具体例をあげて説明しなさい。

問題四

次の文章は、『日本外史』の一節である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

頼朝逃、依^レ北條氏^一。久^レ之、問^レ人曰、「聞^レ時政多^レ女。孰^レ尤美^一」。曰、「長美。次否。否者、後妻出也」。

頼朝懲^ニ伊東氏^一、欲^レ通^ニ次女^一作^レ書。託^ニ僕安達盛長^一、致焉。盛長竊慮、次女無^レ貌、頼朝情好不^レ終、徒足^レ

階^レ禍也。更^レ作^レ書、致^ニ於長女^一。前一夕、次女夢^下鳩衛^ニ金函^一至^上。覚語^ニ之其姉^一。姉心動曰、「吾^レ当^レ買^ニ妹^一

夢^一」。乃与^レ妹以^ニ其粧鏡^一、曰、「薄以償^レ直」。且日、得^レ書遂通^レ之。情好日密。女名^ニ政子^一、時年二十一。

【注】頼朝…源頼朝。 時政…北条時政。 伊東氏…伊豆の豪族、伊東祐親^{すけちか}。 頼朝殺害を企てたが、頼朝は運よ

く難を逃れた。 安達盛長…頼朝の側近。 薄…いささか、しばらく。

問一 傍線部(1)を現代語訳しなさい。

問二 傍線部(2)「徒」の読み方を送り仮名も含めて答えなさい。(歴史的仮名遣い)

問三 傍線部(3)は、なぜそうしたのか。理由を説明しなさい。

問四 傍線部(4)を書き下し文に改めなさい。(歴史的仮名遣い)

問五 『日本外史』という書について、知るところを述べなさい。

問題五 次の各問いに答えなさい。

問一 ノダ文について説明しなさい。

問二 外国語学習におけるドリーフについて説明しなさい。